

③他都市の実施状況

※R3.9.1現在 高校生対象分のみ把握できています。

(単位:千円)

No.	都市名	奨学金 貸付制度	奨学金 給付制度	令和3年度予算
1	札幌市	×	○	94,003
2	仙台市	×	×	—
3	さいたま市	○	×	60,360
4	千葉市	×	○	2,820
5	横浜市	×	○	120,000
6	川崎市	○	○	57,946
7	新潟市	○	×	4,950
8	相模原市	×	○	107,274
9	静岡市	○	○	77,256
10	浜松市	○	×	3,600
11	名古屋市	○	○	205,260
12	京都市	×	○	203,400
13	大阪市	×	○	16,256
14	堺市	×	○	15,360
15	神戸市	×	×	—
16	岡山市	×	○	88,850
17	広島市	×	×	—
18	北九州市	○	×	21,554
19	福岡市	○	×	661,676

(単位:千円)

	都市名	奨学金 貸付制度	奨学金 給付制度	令和3年度予算
20.	熊本市	○	×	100,000

③学校図書館整備状況【学校別】

※R3年度調査

【小学校】

No.	学校名	R3蔵書数 (R2年度末)	達成率
1	壺 川	10,068	101.08%
2	頃 台	7,994	132.35%
3	白 川	11,339	113.85%
4	城 東	9,076	139.20%
5	慶 徳	8,287	137.20%
6	一 新	9,618	105.00%
7	五 福	8,430	105.90%
8	向 山	10,492	101.27%
9	黒 髪	10,410	113.65%
10	大 江	11,849	97.44%
11	本 荘	7,563	148.88%
12	春 竹	11,429	106.22%
13	古 町	6,739	111.57%
14	春 日	8,694	99.25%
15	城 西	11,830	102.34%
16	花 園	8,988	102.60%
17	池 田	11,293	113.38%
18	出 水	11,048	115.56%
19	白 坪	10,742	107.85%
20	画 図	13,447	98.88%
21	砂 取	10,077	101.17%
22	健 軍	11,674	99.27%
23	清 水	11,485	101.10%
24	日 吉	9,648	105.33%
25	川 尻	10,853	100.86%
26	力 合	11,047	98.99%
27	御 幸	11,570	101.85%
28	田 迎	10,786	112.82%
29	高 橋	5,639	101.42%
30	池 上	8,347	111.59%
31	城 山	12,397	103.65%
32	託 麻 原	12,014	103.93%
33	秋 津	11,025	100.59%
37	泉 ケ 丘	9,270	101.20%
38	小 島	8,859	96.71%
39	龍 田	11,684	99.35%
40	帯 山	12,749	99.91%
41	中 島	7,981	100.26%
42	白 山	10,824	100.59%
43	若 葉	10,212	102.53%
44	城 北	10,594	100.32%
45	尾 ノ 上	12,253	102.45%
46	西 原	11,851	99.09%
47	高 平 台	11,222	98.79%
48	楠	8,804	117.70%
49	託 麻 東	14,056	98.16%

【中学校】

No.	学校名	R3蔵書数 (R2年度末)	達成率
1	出 水	16,969	99.12%
2	白 川	14,274	102.54%
3	藤 園	11,947	111.45%
4	花 陵	12,922	106.27%
5	城 南	12,690	100.40%
6	京 陵	15,878	100.24%
7	西 山	14,024	100.75%
8	江 南	9,824	108.67%
9	江 原	10,858	113.10%
10	竜 南	11,284	105.26%
11	桜 山	8,074	95.21%
12	湖 東	13,806	105.23%
13	託 麻	18,124	100.24%
14	三 和	13,683	100.61%
15	城 西	10,120	105.42%
16	帯 山	17,650	105.06%
17	東 野	13,227	104.64%
18	錦 ケ 丘	16,602	100.74%
19	二 岡	12,892	98.26%
20	東 部	13,372	109.97%
21	楠	11,730	96.46%
22	西 原	14,930	100.34%
23	武 蔵	11,783	100.88%
24	東 町	12,687	104.33%
25	出 水 南	14,575	95.89%
26	清 水	13,666	100.49%
27	井 芹	10,315	101.53%
28	北 部	15,252	98.27%
29	芳 野	7,316	134.49%
30	河 内	8,725	160.39%
31	飽 田	10,936	89.93%
32	天 明	9,329	117.79%
33	長 嶺	18,198	100.65%
34	力 合	13,650	104.04%
35	龍 田	14,818	95.48%
36	日 吉	12,988	95.50%
37	桜 木	14,200	108.23%
38	富 合	12,568	117.24%
39	下益城城南	14,604	98.15%
40	鹿 南	10,778	106.08%
41	五 雲	11,278	100.70%
42	植 木 北	8,041	109.25%
合計		540,587	103.20%

※参考(前年度) 104.07%

※参考(前年度) 105.57%

④学校図書の更新状況（R3年度調査）

（単位：冊）

	R1年度（2019年度）末 の蔵書数	R2年度（2020年度）			R2年度（2020年度） 末の蔵書数
		購入等冊数	廃棄冊数	増減冊数	
小学校	926,681	17,394	19,883	△ 2,489	924,192
中学校	538,990	9,533	7,936	1,597	540,587
合計	1,465,671	26,927	27,819	△ 892	1,464,779

学校図書館司書業務補助員の資格の状況、予算額

◆事業開始年度 平成12年度から全小中学校に1名配置

◆資格関係予一タ(各年度4月当初現在)

	配置人数 (富合含む)	21年度		配置人数 (城南・榑木含む)	22年度		23年度		24年度		配置人数 (田辺西小含む)		25年度		配置人数 (力合西小含む)		26年度		27年度		配置人数 (蒲田西小含む)	28年度	配置人数 (松尾3校除く)		29年度		30年度		31年度		R2年度	R3年度
		42人	51.9%		45人	48.9%	39人	42.4%	93人	44人	47.3%	94人	42人	44.7%	37人	39.4%	95人	44人	46.3%	92人			45人	48.9%	43人	46.7%	45人	48.9%	49人	53.3%		
小学校	81人	42人	51.9%	92人	45人	48.9%	39人	42.4%	93人	44人	47.3%	94人	42人	44.7%	37人	39.4%	95人	44人	46.3%	92人	45人	48.9%	43人	46.7%	45人	48.9%	49人	53.3%	53人	57.6%		
中学校	38人	14人	36.8%	42人	14人	33.3%	14人	33.3%	42人	15人	35.7%	42人	17人	40.5%	21人	50.0%	42人	21人	50.0%	42人	21人	50.0%	22人	52.4%	23人	54.8%	23人	54.8%	22人	52.4%		
小中計	119人	56人	47.1%	134人	59人	44.0%	53人	39.6%	135人	59人	43.7%	136人	59人	43.4%	58人	42.6%	137人	65人	47.4%	134人	66人	49.3%	66人	49.3%	66人	49.3%	72人	53.7%	75人	56.0%		

◆予算額

	29年度	30年度	31年度	R2年度	R3年度
(当 初)					
小学校	80,338	79,900	81,785	115,486	113,686
中学校	36,854	36,000	37,684	52,890	51,690
小中計	117,192	116,500	119,469	168,376	165,376

◆待遇詳細

身 分	会計年度任用職員
勤務時間	5時間
賞 金	4,771～5,314円/日額 交通費:180～1,100円/日額(2km以上) 【内訳】2～5km:180円 5～10km:280円 10～15km:400円 15～20km:600円 20～25km:800円 25～30km:1,000円 30km以上:1,100円/日額
雇用期間	学期毎 ※人事評価が基準点以上の場合是最長4ヶ年度更新可能

①市立図書館の図書整備費の年次推移

(単位:千円)

	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
市立図書館	25,551	24,810	23,961	22,895	23,101
森都心プラザ図書館	35,637	21,741	16,015	10,056	11,086
城南図書館	3,296	3,619	3,040	3,229	3,904
植木図書館	4,220	3,639	3,140	3,029	3,813
とみあい図書館	3,251	3,099	2,600	2,598	3,017
公民館図書室	19,463	20,231	22,991	20,990	24,530
電子図書館	—	—	—	10,931	51,373
合計	91,418	77,139	71,747	73,728	120,824

②職員体制の年次推移(市立図書館)

(単位:人)

	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
職員	19	20	20	20	20
(内:司書)	7	7	7	6	6
※会計年度任用職員	27	26	26	26	27
(内:司書)	25	24	24	24	25

※令和2年度(2020年度)、嘱託職員から会計年度任用職員に変更

5 就学援助について

①就学援助に関する年次推移(受給者数・支給額・財源内訳)

<受給者数及び受給率>

(単位:人)

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
小学校	児 童 数	40,236	40,747	41,045	40,922	40,704
	認 定 者 数	6,093	6,005	5,785	5,655	5,669
	認 定 率	15.1%	14.7%	14.1%	13.8%	13.9%
中学校	生 徒 数	19,854	19,574	19,077	18,932	19,044
	認 定 者 数	3,439	3,321	3,196	3,183	3,229
	認 定 率	17.3%	17.0%	16.8%	16.8%	17.0%
合 計	児童生徒数	60,090	60,321	60,122	59,854	59,748
	認 定 者 数	9,532	9,326	8,981	8,838	8,898
	認 定 率	15.9%	15.5%	14.9%	14.8%	14.9%

※1 児童数及び生徒数は、各年5月1日現在のもの

<支給額及び財源内訳>

(単位:千円)

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
就学援助費 支給実績 (A) = (B) + (C)	小 学 校 費	417,805	428,111	423,597	401,710	409,937
	中 学 校 費	378,443	379,186	374,757	361,464	357,244
	合 計	796,248	807,297	798,354	763,174	767,181
国庫補助対象 費目支給実績 (B)	小 学 校 費	2,489	2,229	2,130	1,711	1,398
	中 学 校 費	6,502	5,655	5,534	4,169	2,518
	合 計	8,991	7,884	7,664	5,880	3,916
国庫補助対象外 費目支給実績 (C)	小 学 校 費	415,316	425,882	421,467	399,999	408,539
	中 学 校 費	371,941	373,531	369,223	357,295	354,726
	合 計	787,257	799,413	790,690	757,294	763,265

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
国庫補助額 (単位:千円) (D)	4,495	3,942	3,831	2,939	1,958
国庫補助率 (E) = (D) / (B)	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%

※1 国庫補助対象費目は、要保護児童生徒に係る修学旅行費及び医療費

	PTA会費				部活動費				児童会・生徒会費			
	小学校		中学校		小学校		中学校		小学校		中学校	
	有無	金額等	有無	金額等	有無	金額等	有無	金額等	有無	金額等	有無	金額等
札幌市	×		×		×		×		×		○	2,340円
仙台市	×		×		×		×		×		○	実費支給 (上限5,500円)
新潟市	○	3,450円	○	4,260円	×		×		×		○	5,550円
さいたま市	×		×		×		×		×		×	
千葉市	×		×		×		×		×		×	
川崎市	○	実費支給 (上限3,450円)	○	実費支給 (上限4,260円)	×		○	1年生：20,040円 2年生：13,080円 3年生：5,640円	×		○	実費支給 (上限5,500円)
横浜市	○	3,450円	○	4,260円	○	実費支給 (上限2,730円)	○	1年生：30,150円 2年生：20,100円 3年生：10,050円	×		○	900円
相模原市	×		×		×		×		×		×	
静岡市	×		×		×		×		×		×	
浜松市	×		×		×		×		×		×	
名古屋市	×		×		×		×		×		×	
京都市	×		×		×		×		×		×	
大阪市	×		×		○	実費（学校徴収金として徴収している場合のみ適用）	○	実費（学校徴収金として徴収している場合のみ適用）	○	実費（学校徴収金として徴収している場合のみ適用）	○	実費（学校徴収金として徴収している場合のみ適用）
堺市	×		×		×		×		×		×	
神戸市	×		×		×		×		×		×	
岡山市	×		×		×		×		×		×	
広島市	×		×		×		×		×		×	
北九州市	×		×		×		×		×		×	
福岡市	×		×		×		×		×		×	
熊本市	×		×		×		×		×		×	

7 学級支援員等について

・学級支援員の配置状況と推移 (5/1現在)

		H29	H30	R1	R2	R3
配置校	幼稚園	8	6	6	6	6
	小学校	89	90	91	76	75
	中学校	40	40	41	30	29
	合計(校)	137	136	138	112	110

・学級支援員数の推移

	H29	H30	R1	R2	R3
学級支援員(人)	134	137	134	134	135

(注) 学級支援員数には「看護師」を含む。

7 スクールソーシャルワーカーの内容別学校別配置状況年次推移

現在16人体制（令和3年度）

【参考】R2までのSSW配置体制

R2年度：10人 元年度：10人 30年度：8人 29年度：9人
28年度：9人 27年度：6人 26年度：6人 24年度：4人

②加配一覧 (令和2年度)

小学校(通常学級)						中学校(通常学級)					
加配の種類	人数	学校名				人数	学校名				
主幹	11	大江	城西	城山	龍田	1	北部				
		西原	高平	出水	田迎						
		力合	西								
日本語指導	4	黒髪	黒髪	黒髪		2	桜山	桜山			
大学院・大学	3	向山	城山	出水		4	託麻	錦ヶ丘	武蔵	龍田	
少人数	90	壺川	碩台	白川	城東	87	出水	出水	出水	白川	白川
		五福	向山	向山	黒髪		藤園	花陵	花陵	城南	城南
		春竹	古町	城西	城西		京陵	京陵	西山	西山	江南
		池田	出水	白坪	画図		江原	江原	江原	竜南	竜南
		健軍	清水	清水	日吉		桜山	湖東	湖東	託麻	託麻
		力合	御幸	田迎	池上		託麻	三和	三和	三和	城西
		託麻	秋津	泉ヶ丘	小島		帯山	帯山	帯山	東野	東野
		帯山	帯山	白山	若葉		錦ヶ丘	錦ヶ丘	二岡	二岡	
		城北	尾ノ上	西原	西原		東部	東部	楠	楠	西原
		楠	託麻	託麻	託麻		西原	武蔵	武蔵	東町	東町
		東町	麻生田	麻生田	武蔵		出水	出水	出水	清水	清水
		月出	出水	出水	健軍		井芹	井芹	北部	北部	北部
		田迎	弓削	託麻	託麻		河内	飽田	飽田	天明	長嶺
		楡木	川上	西里	北部		長嶺	長嶺	力合	力合	力合
		長嶺	長嶺	日吉	桜木		龍田	龍田	龍田	日吉	日吉
		富合	杉上	隈庄	隈庄		桜木	桜木	富合	富合	下城南
		豊田	植木	田原	菱形		下城南	鹿南	鹿南	五雲	五雲
		山東	吉松	田迎	力合		植木北	植木北			
初任研	19	大江	城西	画図	砂取	10	出水	京陵	託麻	三和	帯山
		清水	城山	西原	託麻		錦ヶ丘	楠	北部	長嶺	力合
		出水	田迎	託麻	北部						
		隈庄	田迎	力合	龍田						
小学校専科(高学年)	20	白川	春竹	白坪	砂取						
		力合	城山	託麻	帯山						
		城北	尾ノ上	託麻	東町						
		田迎	川上	日吉	桜木						
小学校専科(英語以外)	9	春竹	画図	託麻	月出						
		託麻	北部	東町	長嶺						
小学校専科(英語)	14	大江	古町	城西	泉ヶ丘						
		西原	託麻	桜木	麻生田						
		飽田	富合	植木	桜井						
		本庄	春竹	白坪	画図						
		杉上	田底								
児童生徒支援	7					25	花陵	京陵	清水が丘分校	清水が丘分校	西山
							江原	江原	湖東	託麻	三和
							帯山	東野	二岡	二岡	東部
							楠	西原	清水	北部	長嶺
							富合	下城南	下城南	鹿南	植木北
							東野	下城南			
地震に係る復興支援	5	秋津	託麻	桜木	隈庄	2					
格差解消						1	花陵				
体育IT						1	東町				
分校						5	清水が丘分校	清水が丘分校	清水が丘分校	清水が丘分校	清水が丘分校
研究指定	1	月出									
統合支援	1	小島									
小計	184					138					
小学校(特別支援学級・通級指導教室)						中学校(特別支援学級・通級指導教室)					
加配の種類	人数	学校名				人数	学校名				
特別支援	73	壺川(知)	壺川(情)	一新(知)	向山(知)	34	出水(情)	藤園(情)	花陵(知)	花陵(情)	城南(知)
		春日(知)	花園(知)	出水(情)	白坪(知)		京陵(情)	江原(知)	竜南(知)	湖東(情)	託麻(情)
		画図(情)	砂取(知)	健軍(知)	健軍(難)		三和(情)	帯山(知)	帯山(情)	錦ヶ丘(知)	錦ヶ丘(情)
		川尻(情)	力合(知)	力合(情)	御幸(情)		二岡(情)	東部(情)	楠(情)	西原(情)	武蔵(情)
		池上(知)	小島(知)	小島(情)	龍田(知)		出水(情)	清水(知)	井芹(情)	北部(知)	北部(情)
		帯山(情)	帯山(肢)	中島(知)	白山(情)		飽田(情)	長嶺(知)	長嶺(情)	力合(情)	龍田(情)
		尾ノ上(知)	尾ノ上(情)	西原(知)	西原(情)		日吉(知)	桜木(情)	下城南(情)	五雲(情)	
		託麻(情)	託麻(肢)	託麻(情)	桜木(知)						
		武蔵(情)	帯山(肢)	帯山(情)	出水(知)						
		城南(情)	田迎(知)	弓削(知)	託麻(情)						
		楡木(知)	川上(知)	川上(情)	西里(知)						
		北部(知)	長嶺(情)	日吉(情)	桜木(情)						
		富合(情)	隈庄(知)	隈庄(情)	豊田(情)						
		田原(知)	桜井(情)	吉松(情)	田迎(知)						
		力合(肢)	龍田(知)	龍田(情)							
大学院・大学						1	江原				
通級(情緒)	14	五福(1)	黒髪(2)	春竹(2)	健軍(3)						
		城北(1)	西原(1)	託麻(1)	東町(1)						
通級(言語)	17	慶徳(4)	黒髪(2)	出水(2)	健軍(2)						
		楠(1)	東町(3)	菱形(1)							
通級(難聴)	3	壺川(1)	健軍(2)			1	湖東(1)				
通級(LD・ADHD)	13	五福(1)	花園(1)	白坪(2)	清水(1)	6	藤園(2)	城南(1)	帯山(2)	五雲(1)	
		帯山(2)	尾ノ上(1)	楠(1)	植木(1)						
小計	120					42					
合計	304					180					

11 小中学校それぞれの少人数学級・少人数指導の実施状況

少人数指導の実施のために、**小学校で109名、中学校87名**の加配教員を配置しています。

少人数指導は、加配教員等を活用して数学（算数）、理科、英語（外国語活動）などの教科で実施している。実施方法としては、習熟度別や課題別等により少人数に分けての指導や、ティームティーチング形式での指導など、児童生徒の実態に合わせて指導を行っています。

12 市立高等学校の学校ごとの退学者数と、うち経済的理由によるもの、修学旅行に行けない生徒数

①退学者数

学校	退学理由	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
必由館	経済的理由	0	0	0	0	0
	その他	1	4	2	3	0
	計	1	4	2	3	0
千原台	経済的理由	0	0	0	0	0
	その他	2	4	1	4	0
	計	2	4	1	4	0
合計	経済的理由	0	0	0	0	0
	その他	3	8	3	7	0
	計	3	8	3	7	0

※必由館高校について、昨年同時期に提出した資料では「R1年度 その他;4人」と表記していましたが、今年度、再度確認したところ、「R1年度 その他:3人」ということが分かりました。訂正をしております(R1年度の4人にH30年度の退学者1人が含まれておりました)。

②修学旅行欠席者数

学校	退学理由	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
必由館	経済的理由	0	0	0	1	-
	その他	3	2	2	4	-
	計	3	2	2	5	-
千原台	経済的理由	0	0	0	0	-
	その他	1	2	0	8	-
	計	1	2	0	8	-
合計	経済的理由	0	0	0	1	-
	その他	4	4	2	12	-
	計	4	4	2	13	-

※R2年度は、必由館高校、千原台高校、ともに新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、修学旅行を本年度に延期しました。1年次実施予定が2年次実施予定に変わっております。

14 職員の正規・非正規(会計年度任用職員は学期雇用・そうでない雇用別)の状況の年次推移

(人)

年度	正規職員	会計年度任用職員 (A)	うち学期雇用 (B)	うちその他の雇用 (A)－(B)
平成28年度 (2016)	546	1,753	774	979
平成29年度 (2017)	537	1,754	759	995
平成30年度 (2018)	545	1,639	712	927
令和元年度 (2019)	567	1,640	662	978
令和2年度 (2020)	574	1,520	474	1,046

※教職員を除く

※各年度6月1日現在

15 教職員の正規・非正規の状況の年次推移

年 度	校種等	定員 A	現員(本採) B	欠員(臨採) C (A-B)
平成28年度 (2016)	小学校	2,263	1,977	286
	中学校	1,284	1,092	192
	計	3,547	3,069	478
平成29年度 (2017)	小学校	2,252	2,020	232
	中学校	1,269	1,110	159
	計	3,521	3,130	391
平成30年度 (2018)	小学校	2,291	2,041	250
	中学校	1,259	1,108	151
	計	3,550	3,149	401
令和元年度 (2019)	小学校	2,279	2,076	203
	中学校	1,262	1,108	154
	計	3,541	3,184	357
令和2年度 (2020)	小学校	2,267	2,072	195
	中学校	1,254	1,090	164
	計	3,521	3,162	359

※各年度5月1日現在。定員は実学級でのもの。
定員及び現員(本採)は、校長、教頭、主幹教諭、教諭の数

2 2 学校施設のバリアフリー化実施状況年次推移

令和3年9月1日現在

1 (1) エレベータ設置状況 過去5年間

年度	小学校		中学校	
H28	東町	画図		
	白川			
H29			北部	
H30			富合	
R元	泉ヶ丘	託麻東	帯山	藤園
			東野	
R2	田迎南	吉松		
5ヶ年計	7校		5校	

※ R3 小学校3校・中学校1校設計中 (R4 完成予定)

(2) エレベータ設置状況

学校別	学校数	設置校数	設置割合	未設置校数
小学校	92	14	15.2%	78
中学校	42	8	19.0%	34
合計	134	22	16.4%	112

22 学校施設のバリアフリー化実施状況年次推移

令和3年9月1日現在

2 バリアフリースイートイレ(多目的トイレ)整備状況 過去5年間

年度	小学校		中学校	
	整備数	学校名	整備数	学校名
H28	2	龍田西 画図	2	藤園 出水
H29	3	小島 尾ノ上 日吉		
H30	4	泉ヶ丘 力合 帯山西 清水	4	西山 錦ヶ丘 富合 鹿南
R元	2	託麻東 飽田西	3	帯山 東野 北部
R2	3	田迎南 吉松 白坪	2	二岡 東町
5ヶ年計	14		11	

※災害復旧関連などの整備を含む。

※R3年度中に小学校11校、中学校1校完成予定

現在の設置状況(校舎・体育館のどちらかには設置されている)

学校別	全学校数	設置校数	設置割合	未設置校数
小学校	92	55	59.8%	37
中学校	42	33	78.6%	9
計	134	88	65.7%	46

【バリアフリースイートイレ(多目的トイレ)の定義】

廊下から直接出入りが出来る単独の便房で、洋式便器と手すりが設置されており、内部で車椅子使用者が回転可能なトイレ。

指定都市における令和3年度少人数学級編制の取組状況

※小学校においては、令和3年度から段階的に35人学級が導入され、令和7年度までに全学年で35人学級が導入される予定。

(単位:人)

	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	備 考
札幌市	35	35	40	40	40	40	35	40	40	・中1は、加配を活用して35人以下学級を実施 ・公表はしていないが、35人学級を小3、小4に拡大することを検討中。
仙台市	35	35	35	40	40	40	35	35	35	・小3及び中1～中3は、加配を活用して35人以下学級を実施。 ・中等教育学校の1学年～3学年の学級編制基準は上限を35人としている。
さいたま市	35	35	40	40	40	40	40	40	40	少人数学級編制に係る研究指定の申出を行うことにより、中1は38人学級にすることが可能。
千葉市	35	35	35	35	38	38	38	38	38	・小3から小4までは35人学級とし、小5から中3は38人学級とする。 ・少人数学級を実施せず、担任分として配置された教員を少人数指導担当として活用することが可能。 (少人数学級の担任とするか、少人数指導の担当とするかは、学校の実情に応じて、学校と教育委員会が協議して決定。)
川崎市	35	35	40	40	40	40	40	40	40	小3～中3については、学校からの申請に基づき、1学級あたりの児童数が35人を超える場合、又は標準学級数が前年度の実学級数を下回る場合に、加配を活用し、少人数学級を実施。なお、小2については、加配を活用して全校で35人以下学級を実施。
横浜市	35	35	40	40	40	40	40	40	40	
相模原市	35	35	40	40	40	40	40	40	40	
新潟市	32	32	32	32	35※	35※	35※	35※	35※	・小1・2年は1学級の下限なし ・小3・4年は1学級の下限23人 ・小5～中3年は1学級の下限25人
静岡市	35	35	35	35	35	35	35	35	35	・小3～中3は、2学級以上、かつ1学級の平均人数が35人を超える場合には、1学級35人以下(下限25人)の学級を編制することができる。(国加配を活用)
浜松市	30	30	30	35	35	35	35	35	35	・小1～小3は、基礎定数及び市単独負担分を活用して30人以下学級編制を実施。(下限25人) ※小1は標準法、小2は加配活用における35人学級編制実施後の1学級あたりの児童数を基礎として30人学級編制の該当・非該当を決定する。 ・小3～中3は、加配を活用して35人以下学級編制を実施。(下限25人)
名古屋市	30	30	35	40	40	40	35	40	40	・小1:平成14年度全校実施 ・小2:平成19年度全校実施 ・小3:令和3年度全校実施 ・中1:平成21年度全校実施
京都市	35	35	40 (※2)	40 (※2)	40 (※2)	40 (※2)	40 (※2)	40 (※2)	30 (※1)	※1 中3:30人学級は市単費で実施。 ※2 小3～6:30人程度学級、中1～3:35人以下学級は市単費(旧府単費)で実施。対象学年それぞれで30人程度学級及び35人以下学級が達成可能な加配を措置するが、少人数学級以外(T・T等)として活用することも可能。
大阪市	35	35	40	40	40	40	40	40	40	
堺市	35	35	38	38	38	38	40	40	40	・小3～6で、加配を活用して、1学級38人以上になる学年に1名配置。(学校裁量で、学級を分割するか、習熟度別指導等に活用するかを選択する。)
神戸市	35	35	35 又は40	35 又は40	40	40	40	40	40	小3～小4は学校選択により35人学級を実施。35人学級を選択しない場合は教員加配を実施。
岡山市	35	35	35 又は40	35 又は40	35 又は40	35 又は40	35 又は40	35 又は40	35 又は40	○小3・小4:各学年の学級数が、1学級以上の学校で35人を超える学級がある場合、加配を活用して少人数指導か35人以下学級を選択 ○小5・小6:各学年の学級数が、3学級以上の学校で35人を超える学級がある場合、加配を活用して少人数指導か35人以下学級を選択 ○中1～3(5学級以上):1学級あたりの生徒数が36人以上の場合、加配を活用して35人以下学級とする。1学級あたりの生徒数が35人より多く36人未満の場合、加配を活用して少人数指導か35人以下学級を選択 ○中1～3(3・4学級):1学級あたりの生徒数が35人より多く40人以下になっている場合、加配を活用して少人数指導か35人以下学級を選択
広島市	35	35	35	35	35	35	35	40	40	・小学校3年生から6年生及び中学校1年生においては、1学年2学級以上かつ1学級の平均人数が35人を超える場合には、加配を活用して、35人以下学級を実施。(ただし、1学年1学級以上かつ1学級の平均人数が35人を超える場合には、35人以下学級を実施せず、非常勤講師(少人数教育担当講師)を措置。)
北九州市	35	35	35	35	35	35	35	35 又は40	35 又は40	・令和3年度から、小3～6について35人学級を導入。 ・中1は、加配を活用して35人以下学級を実施
福岡市	35	35	35	35	35	35	35	35	35	・令和3年度は、新型コロナウイルスへの対応のため暫定的に35人学級編制としている。 令和4年度以降の対応については未定。
熊本市	35	35	35	35	40	40	35	40	40	その他の学年は、市単費で実施。